

決算認定議案の審査

9月の定例会では、前年度の予算が適正に執行されたか、その事業内容を総務・文教厚生・建設産業の3つの常任委員会でチェックを行います。
令和6年度の事業について、その審査内容の一部をお知らせします。

情報公開・個人情報保護 事務

問 個人情報の漏えいが7件発生しましたが、市民にはどのように説明し、再発防止策としてどのような取組みを行いましたか。

答 情報が漏えいした方へは事実と対応策を速やかに、かつ丁寧に説明し、不安解消に努めました。また、担当課長と総務課で再発防止策を協議し、実施状況の確認を行いました。発生した事案については、各課等と情報共有し、同様の事案が発生しないよう業務の改善を図っています。



公共施設整備基金

問 公共施設整備基金を9億7千万円取り崩し、基金残高が30億円から21億円に減少しましたが、今後、どのように財源を確保していきますか。

答 財政調整基金が令和7年度末に目標額の70億円に達する見込みのため、今後は公共施設整備基金への積立を行っていく予定です。

財産管理

問 市が所有している土地（行政財産）を売却する場合の判断基準はどのようになっていますか。

答 中心市街地や公共施設に隣接している土地は売却しませんが、市が活用する見込みがない土地は、固定資産税の増加や定住者の増加につながるため売却していきます。



固定資産税等賦課事務

問 固定資産台帳の確認や実地調査を行うことで、申告内容を精査した結果は、どのようなでしたか。

答 未申告の償却資産を発見し、新たに500万円程度の課税につなげることができました。

半田市モーターボート競走事業特別会計

問 例年と比較し、モーターボート事業から一般会計に繰り入れた金額が大きくなったのはなぜですか。

答 常滑市モーターボート競走事業では、収益を建設改良積立金に積み立て、その残額を常滑市と半田市で基準に基づき分配してきましたが、積み立てがほぼ終わり、分配できる額が増加したためです。



DX推進事業

問 生成AIを導入し実証実験を行いました。その費用対効果をどのように評価していますか。また、セキュリティ対策はどのように行いましたか。

答 サービスの利用契約費39万6千円に対し、約550時間の業務の削減効果が得られたため、費用対効果は高かったと認識しています。また、セキュリティ対策としては、マイナンバーを含む個人情報を読み込まない機能を保有しているサービスを選定しました。

